

信大生、ラオスに行ってみた



中野未久 八木知夏 高砂葉音 谷林徹平 松崎大晟 吉村はな

日本とラオスの教育学部生による 協働プロジェクトCoCoKa(コロナと心と体)



実施者：保体/野外(八木,谷林,吉村,中野), 特支(高砂),もの技(松崎)+ラオス国立大学生

目的：コロナ禍の海外の児童生徒の生活や心身の健康状態等を知るとともに、その改善のための教材開発・実践、成果と課題の共有を通して、国際的な視野で子ども教育や健康の問題に取り組むことのできる能力を高める。

活動期間：7月-11月 (①準備：7-8月、②③④実施：9月(ラオス渡航)、⑤報告：11月)

| | 目的/内容 | 方法 |
|----|--------------------|--|
| 準備 | ①教材開発&現地事情 (知る) | 勉強会 (週1回) ・心：メンタルヘルスマネジメント ・体：なわとび等 |
| 実施 | ②現状把握(知る) | 学校・市場見学 |
| | ③教材作り(作成) | 信大生とラオス国立大学の教育学部生等との協働 |
| | ④授業実施(実践) | 現地の小学校・中学校での授業実践 |
| 報告 | ⑤報告会(共有&深い学び) | 学内外で成果と課題を共有 |

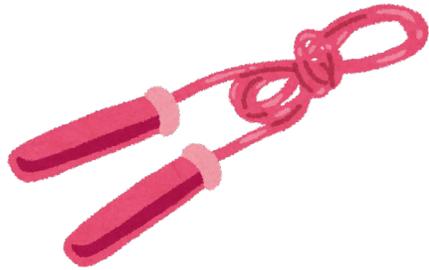
期待する成果：

- ・コロナ禍におかれた開発途上国の子どもたちの教育や健康問題の実状を体験を通して理解する。
- ・ラオスの子どもたちの実状に即した教材が開発・実施され、その成果と課題が明らかになる。
(子どもたち自身が継続的に健康を維持する取組みの一助となる)
- ・国外の教育や子どもの健康問題に興味関心を持つ人が増える。

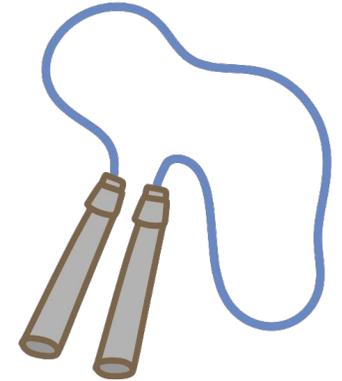
2022年6月～ ラオス渡航の準備。
長くて、短い3か月を経て、9月、ついにラオスへ。

現地では、なわとびを作り持参し、学校を訪問。
現地の子どもたちと一緒に
心と体をたくさん動かしました。

ここでは、縄跳びの試作から、実際に学校で
子どもたちと縄跳びをするまでを紹介します！



なわとびの製作①



使用器具：ノコギリ、キリ、(ガムテープ)

第1案

第2案

第3案

第4案



①



試作

試作&実践

実践

実践

日本

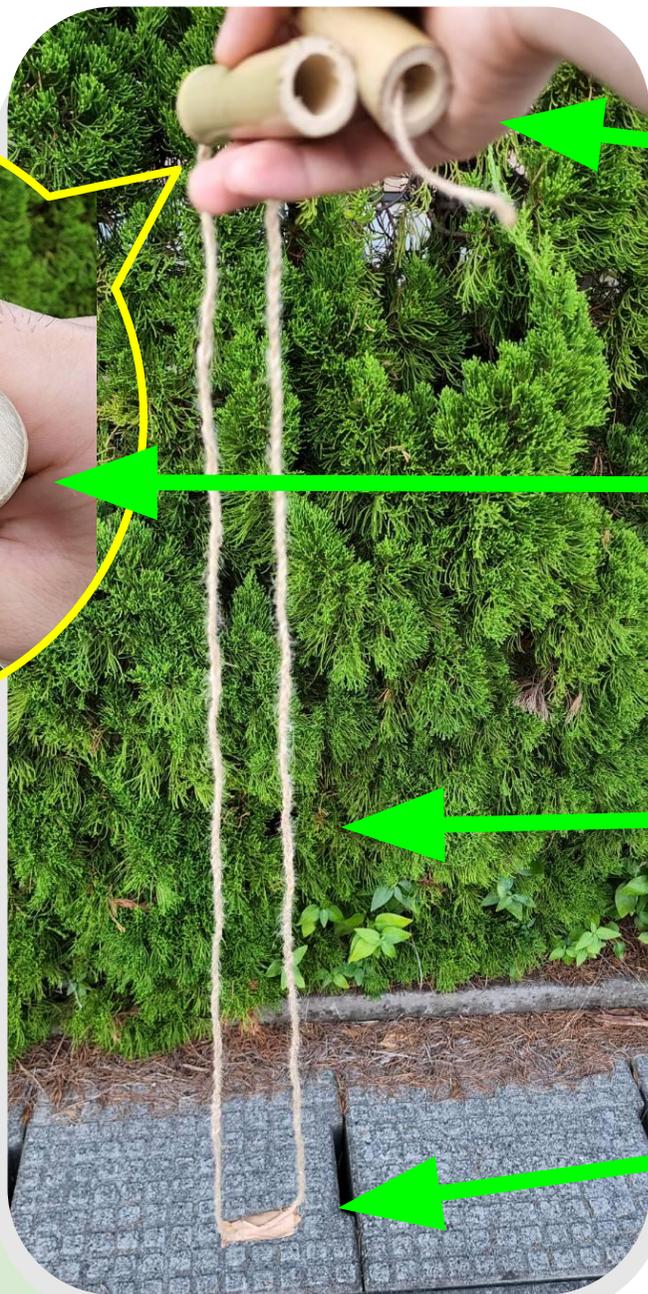
日本

ラオス

ラオス

製作場所

第1案



持ち手
特徴 竹の節を片方だけ残すように切っている。

問題点
・ラオスで売っているか。
・切断道具はどうするか。

結び目
特徴 竹の節部分にキリで穴を開けている。

問題点
・手間が掛かる。(生産性低下)
・穿孔具はどうするか。

ヒモ
特徴 麻ひもを三つ編みにして太さを出した。

問題点
・軽くて跳びづらい。
・毛羽立つ。

おもり
特徴 簡単に作れるように、ガムテープを丸めて作った。

問題点
・少しは重くなったが、ほとんど跳びやすさに変化なし。

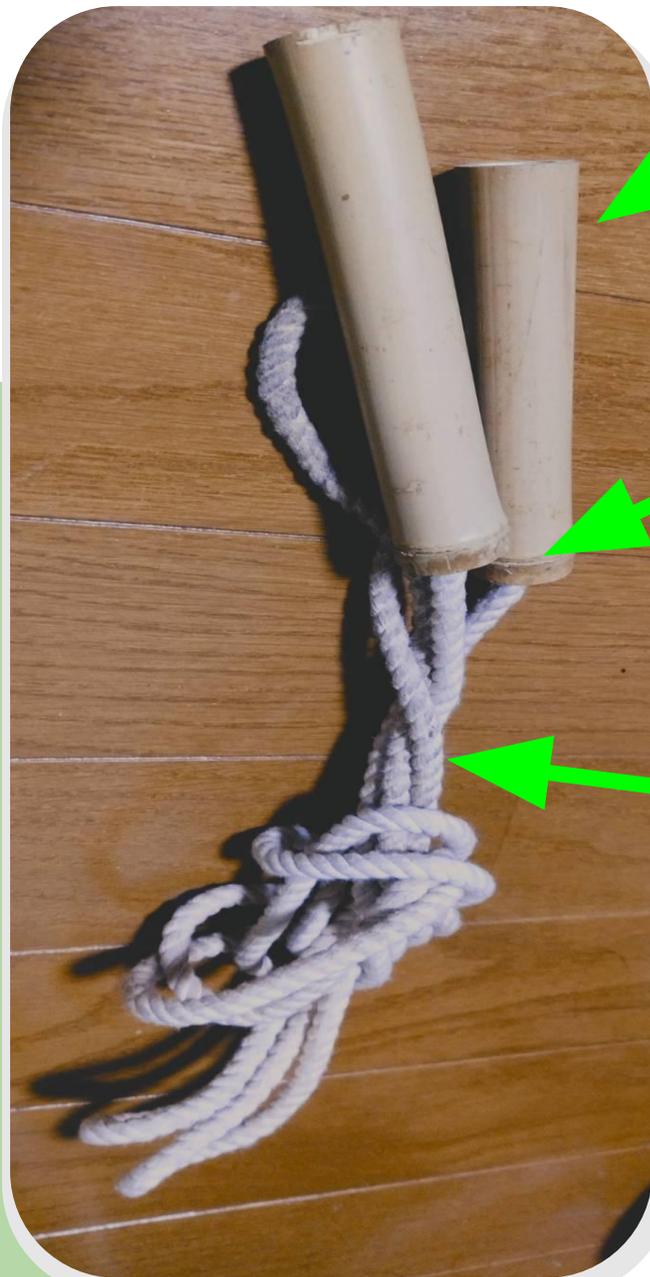
材料：

- ▶竹
- ▶ガムテープ
- ▶麻ひも

第2案



- 材料：
- ▶竹
 - ▶ガムテープ
 - ▶作業用ロープ



持ち手

特徴 竹の節を片方だけ残すように切っている。

問題点

- ・ラオスで手に入れられるか。
- ・切断道具はどうするか。

結び目

特徴 竹の節部分にキリで穴を開けている。

問題点

- ・手間が掛かる。(生産性低下)
- ・穿孔具はどうするか。

ヒモ

特徴 太くて頑丈。ヒモ自体に"おもさ"があって跳びやすい。

問題点

- ・ラオスで手に入れられるか。
- ・価格が少し高い。(日本円)

~~**おもり**~~

~~特徴~~

~~問題点~~

市場調査



縄跳びの値段が
高すぎる!?



縄跳び価格調査

日本の縄跳びの値段はもっと低い...
安いものなら100円近いものもある...

+

ラオスの物価も加味すると...

||

縄跳びは手に入れにくいのではないかと



スポーツ用品店を
めぐって...

現地で手に入る材料で縄跳び製作を目指しマーケットへ

ロープ



くつべら

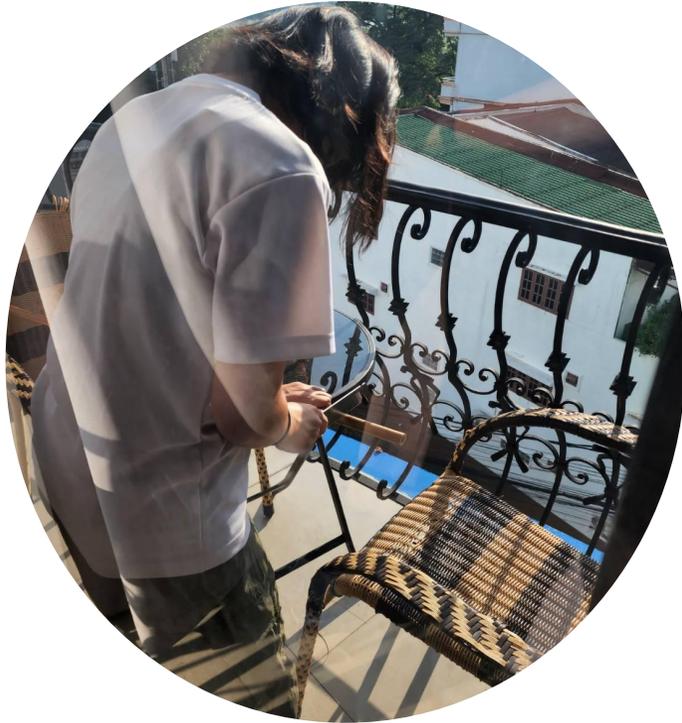


竹

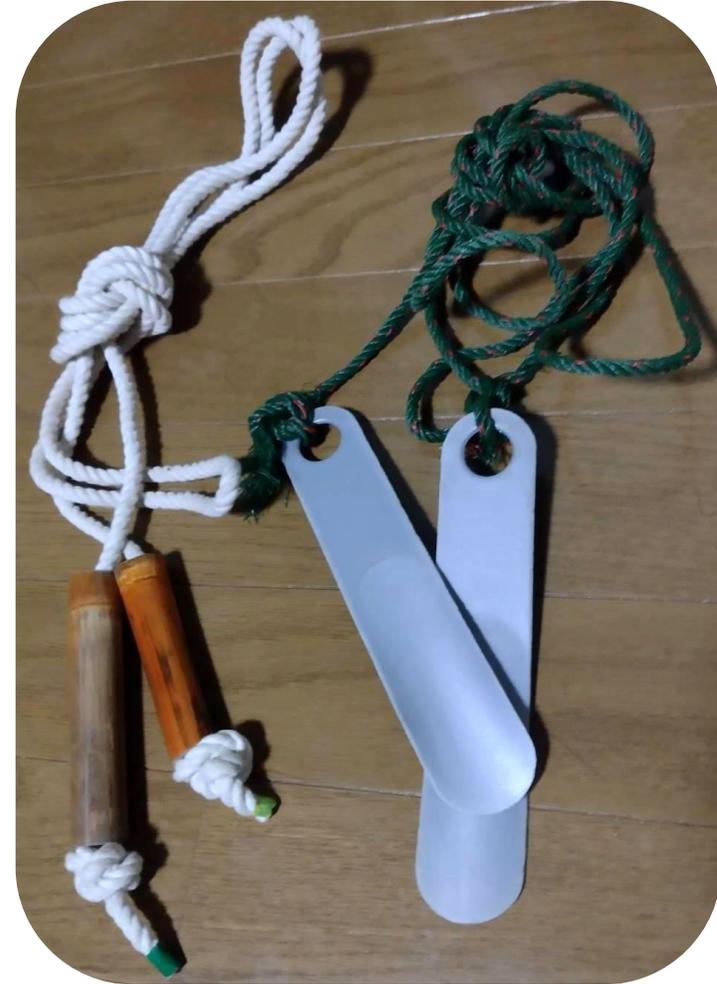
マーケット



なわとびの製作②

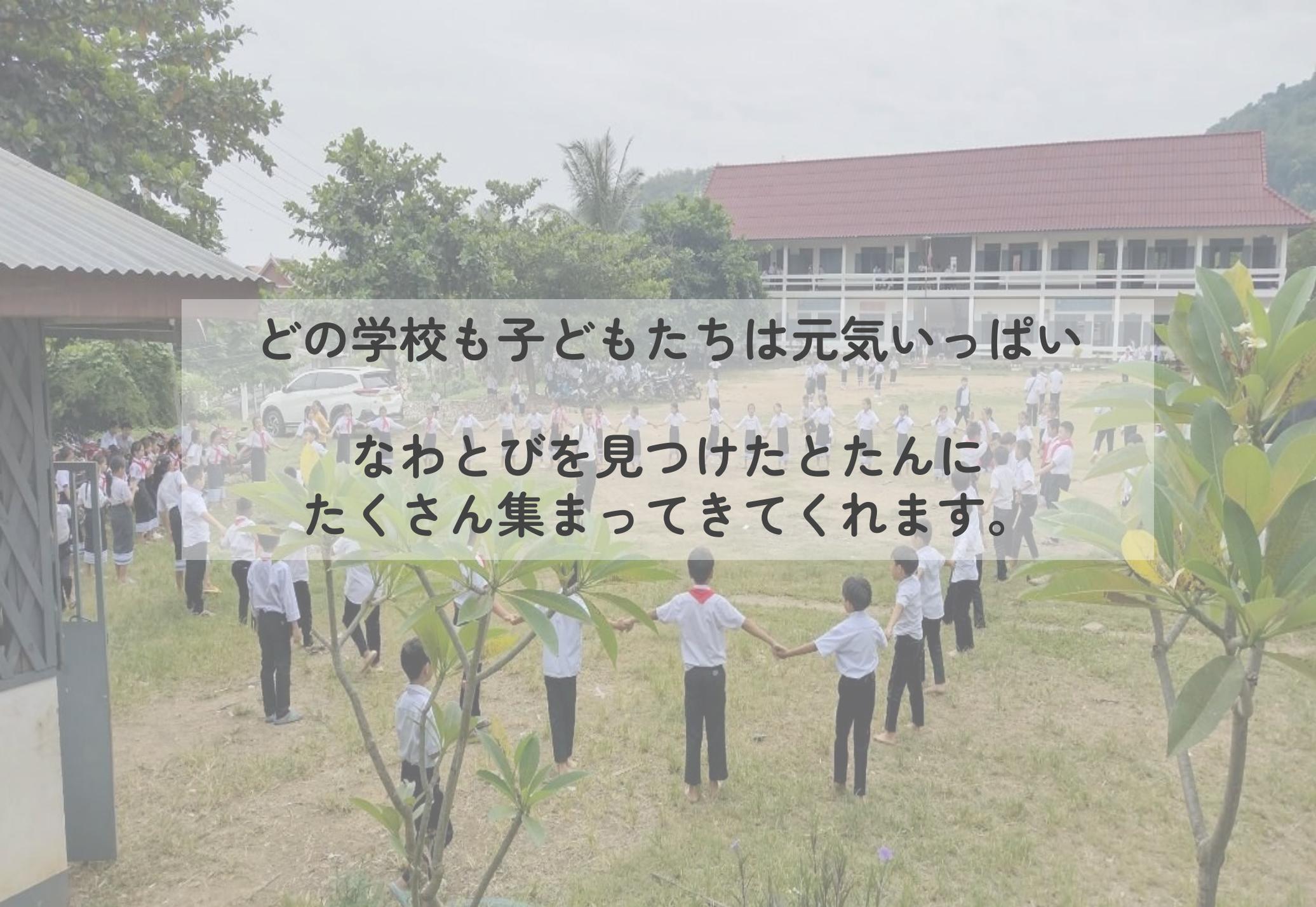


スーツケースの中に
のこぎりとか小刀とか
入ってました↓



完成品がこちら↑

市場で仕入れた竹とロープを
ホテルのベランダ（4階）で
加工。



どの学校も子どもたちは元気いっぱい

なわとびを見つけたとたんにと
たくさん集まってきてくれます。



ふたりとび



いざ実践!! Luang prabang



つなひき!?



@バンクーン/ルアンパバーン





～贈呈式～

縄跳びを終えたあと、お世話になった学校に大縄跳びをプレゼント！



<贈呈する縄跳び作成中>





みんなで記念撮影📷



※撮影時のみ、マスクを外しています

成果と課題

【成果】

- ・ラオスに興味を持つ人が増えた
- ・縄跳びを作って、子どもたちと取り組むことができた。
- ・ラオスの子ども達の縄跳びに対する反応を知ることができた。
- ・新しい跳び方（八の字、あや飛びなど）を教えることができた。
- ・地域によって子ども達の運動能力が様々であることを感じた。
- ・ラオスの大学生や先生方と意見交換をすることができた。
- ・学校や子どもたちの様子を自分達の間で見ることができた。
- ・「運動すること」の意義や必要性について向き合うことが出来た。
- ・幅広い伝え方（表現方法、手段）を持つことの難しさ大切さを感じた。

【課題】

- ・縄跳びを授業として展開するには？
- ・用意できる縄跳びの数が少なかった
- ・縄跳びの作り方を教える機会がなかった
- ・縄跳びを作る材料の入手方法を伝えられなかった
- ・メンタルヘルスマネージメントの教材を実施することができなかった。
- ・表現の手段や方法を増やす。

こちらもcheck👁️👁️

Instagram

https://instagram.com/lao_laoshinshu_2022?igshid=YmMvMTA2M2Y=



Facebook

<https://www.facebook.com/groups/shindaisachiken2010/?ref=share>



WordPress

http://fablab-nagano.org/educational_challenge/

